

令和元年度 三田市人権を考える会  
ラブピース4コマまんがコンテスト  
優秀賞作品

『気持ちをことばに』  
狭間小学校2年(前年度)  
菅長 葵 さん



♥ **アドバイス**  
子どもの発達には、個人差があり、それぞれ特性があります。子どものこだわりが家で強く出してしまう原因を考えてみましょう。

◆ **考えられる要因**  
はつきりした診断名がつかないことはよくあります。学校ではうまくいっている様子ですが、周りに合わせている分、家では安心してマイペースで行動できるので、こだわりが強くなるのかもしれない。



家ではこだわりが強く困っています  
先日、小学生の子どもが発達検査を受けました。はっきりとした診断名は出ませんでした。学校では問題なく過ごしているようなのですが、家ではこだわりが強く困っています。



ケース2

部分に目を向けていくことも一つの方法です。



③ これからの子どもは成長や発達の状況によって、子どもの行動が気にならなくなったりすることもよくあります。成長の過程で子ども自身が、心の葛藤を乗り越えようとしているのかもしれない。子どもの成長を見守り、良い部分に目を向けていくことも一つの方法です。

② そのために、家で困っているというのを先生に相談してみてください。学校での様子をよく知っている先生と情報を共有しておくことは有効です。

① 家でのこだわりの場面をリストアップしてみましょう。共通点が見つかるかもしれません。学校で適応できている場面やその理由を知ることが大切です。その上で、家と学校の様子を照らし合わせ、違いがどこから来ているのか、考えてみましょう。



ケース3

◆ **考えられる要因**  
今は、ほとんどの家庭にゲームやインターネット環境があります。軽い気持ちで始めたゲームも、仲間の賞賛を得ると「もっと周りから認められたい」という気持ちになり、自分をコントロールできなくなってしまうことがあります。また、ゲームに集中すると頭が冴えてしまい、眠れなくなってしまうことがあります。寝不足で学校に行けなくなっている時、ゲームについて注意されると、「楽しいことを邪魔される」という思いから反抗的になってしまふのかもしれない。

ゲームばかりして困っています  
中学生の子どもが、家でゲームばかりしています。昼夜逆転してしまい、学校にも行けない時があります。注意をすると、反抗的な態度になります。



◆ **アドバイス**  
① 今の状況について子どもがどう思っているのか、自分の考えを話せる場と時間を作りましょう。子どもの自尊心を傷つけることなく、肯定的に優しく声をかけることが大切です。  
② 少しずつ自分の気持ちを話し始めたら、その気持ちを受け止め、生活に支障のないよう、1日のゲーム時間を家族で話し合います。最初は目標時間を長めに設定し、達成できたら徐々に時間を減らしていきます。

まうのかもしれない。また、友人関係がうまくいかないなど、何か悩みがありゲームに没頭しているのかもしれない。

おかげさまで500号  
昭和54年(1979年)に、部落差別の解消をめざし発行された「同和教育さんだ」は、その後「人権さんだ」と改称し、今号で500号を迎えました。人権問題を自分の問題としてとらえた活動を願った広報紙は、41年間みなさまに育てていただきました。今後も、命と人権が守られる住みよいまち三田をめざしてまいります。

**人権と共生社会を考える 市民のつどい** 申し込み不要 参加費無料  
日時 12月5日(土) 13時30分～16時(受付13時)  
会場 郷の音ホール 大ホール  
◆ 人権標語・ポスター ・ラブピース4コマまんが表彰  
◆ 小・中・高校生による人権作文発表  
◆ 講演「新型コロナウイルス感染症とヘイトスピーチ」  
講師 李信恵さん (フリーライター)

人権標語・ポスター・4コマまんがコンテスト入賞作品展示会  
《市役所ロビー》11月26日(木)まで ※最終日は15時まで  
《郷の音ホール 大ホールロビー》12月5日(土) 13時～16時

**講座のご案内** ※申し込み不要・参加費無料  
人生をコメディに～視点を変えると笑顔が増える～  
日時 11月29日(日) 13時～15時(開場:12時30分)  
講師 河合美智子さん(女優、但馬観光大使)  
峯村純一さん  
会場 総合福祉保健センター 多目的ホール  
主催 三田市身体障害者福祉協議会  
電話・FAX:079-559-6366  
※手話通訳者・要約筆記者を配置しています。



イラスト出典:厚生労働省ホームページより  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsite/bunya/kodomo/taibatuhtml>  
《子育て相談の紹介》  
三田市家庭児童相談室  
TEL:079-559-5076  
FAX:079-563-3611  
川西こども家庭センター  
072-756-6633  
厚生労働省 児童相談所全国共通  
3桁ダイヤル  
いちはやく  
189

編集後記  
目まぐるしく変化する社会状況の中にあつて子育ての困難さは増し、その悩みを誰にも相談できず、一人で抱え込んでしまふ人もいます。そのような人が身近にいたら、誰にも起こることだからと声をかけ、専門機関に相談してみるよう促してください。相談することでお悩みもありません。なかなか解決できない問題であっても一緒に悩み、考えてくれる人が必ずいます。